

## VRを活用した防火・防災に関する教育・訓練サービスの提供

東京海上日動リスクコンサルティング株式会社（代表取締役社長 嶋倉 泰造、以下「TRC」）は、企業向け災害リスク低減コンサルティングで培った豊富なノウハウに基づき開発したVR技術を活用した防火・防災に関する教育・訓練サービスの提供を開始いたします。

### 1. 背景・目的

ロジスティクスやサプライチェーンの効率化により災害発生時の事業影響や社会経済波及が増大傾向にあるなかで、事前および事後の災害対応力向上への社会的要請はさらに強まっています。しかしながら、建物や設備の機能充実を図るだけでは災害発生による被害低減には十分ではありません。

平成28年に埼玉県三芳町で発生した大規模倉庫火災において、屋外消火栓が適切に使用されなかったことが火災拡大の一因として挙げられています<sup>1</sup>。平成29年版消防白書<sup>2</sup>によると、平成28年に発生した火災時に初期消火活動が行われなかったケースは約37.6%(36,831件中13,843件)に上り、平成18年の37.3%(53,276件中19,862件)から大きな変化は見られず、有効に初期消火が行われているとは言い難い状況にあります。

また、消防計画等の緊急時対応マニュアルは、企業や施設の実態に即した内容で整備されていないケースも見られます。防災訓練においても、時々刻々と変化する炎や煙の伝播が考慮されていない状況での避難や初期消火といった内容が一般的であり、実災害時の実効性向上に十分に配慮したものとはなっていません。

弊社では、上記を背景として、従来から実施している防災教育サービスに加えて、VRコンテンツを含む、防火・防災に関する総合的な教育・訓練サービスの提供を開始いたしました。

なお、VRを活用した初動対応訓練用コンテンツには、弊社で長年培った火災に関するノウハウが織り込まれており、従来の防災訓練と比較して、より現実的で臨場感(リアリティ)のある内容となっております。万が一、災害が発生した際の個々人の初動対応を、より適切かつ迅速なものに改善できる内容と考えております。

### 2. コンサルティングの概要

本コンサルティングでは以下を有償にてご提供いたします。ご要望に応じてカスタマイズ可能です。

- ① ワークショップ形式による防災教育サービス
- ② より実践的な緊急時対応マニュアル整備のご支援
- ③ VRを活用した初動対応訓練用コンテンツ（火災からの避難、消火器および消火栓による初期消火、水災体験等）

### 3. 今後の展開

上記に加えて、より現実的に即した内容としてのARやMRを活用した初動対応訓練用コンテンツの開発、訓練結果を統計処理することにより、従業員の行動傾向を把握できる内容に改善していくことを検

<sup>1</sup> 出典：埼玉県三芳町倉庫火災を踏まえた防火対策及び消防活動のあり方に関する検討会報告書

[http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi\\_kento/h29/miyoshimachi\\_souko\\_kasai/houkoku/houkokusyo.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi_kento/h29/miyoshimachi_souko_kasai/houkoku/houkokusyo.pdf)

<sup>2</sup> <http://www.fdma.go.jp/html/hakusho/h29/h29/html/shiryo1-1-12.html>

討しております。

#### 4. 本ニュースリリースについてのお問い合わせ先

東京海上日動リスクコンサルティング株式会社 企業財産本部

TEL：03-5288-6585（担当：富田、海老原）

以 上